

いわて車いすフレンズ
車いす整備技術講習会を開催

修理した14台を8月に タイ、スリランカへ

6月23日（月）、「平成26年度
いわて車いすフレンズ・車いす
整備技術講習会」をふれあいラ
ンド岩手で開催しました。

この活動は工業高校生、大学
生が、古くなったり、壊れたり
して使えなくなつた車いすを修
理・整備して、東南アジアを中心
とした海外に贈る活動で、全
国的には「空飛ぶ車いす活動」
として、24都道府県の68校で行
われているものです。当日は、
県内でこの活動に取り組んでい
る9つの工業高校・大学のうち、
7つの高校・大学から生徒や教
員38名が参加しました。

まず、「空飛ぶ車いす活動」
の中心的な学校の一つである、
神奈川工科大学KWRの梅原
トピックス



今年もカルガモが来ました

ふれあいランド岩手に、今年もカルガ
モがやってきました。



お詫びと
訂正

パートナー6月号「ふれあいトーク」の
伊東香織さん（誤）は武藤香織（正）
につき、訂正し、お詫びいたします。

今年は6月中旬から中庭で子育てをし
ています。当初は11匹いた小ガモたちで
すが、現在は2匹となっています。
ふれあいランド岩手では、この2匹が
揃つて巣立てるよ、見守っています。
皆さんも、ふれあいランド岩手にお越
しの際は、中庭を覗いてみてください。

直人さんから、日本を旅立つた
車いすが、どのように海外に運
ばれているか、どのようなところ
で使われているか、輸送の状
況や現地で車いすの到着を待つ
方々との交流の様子が報告され
ました。

その中で現地は、日本のよう
に道路の整備がされているところ
がわざかで、道路事情の悪い
中で車いすが使われる場合が多
いことや、車いすが高価で購入
できる人が限られるため、この
ような車いすの寄贈は、大変よ
ろこばれること、また、日本
本から運ぶ際に使用する梱包材
も現地では貴重品であるため、
再利用できるよう、梱包方法に
も気を付ける必要があることな

どが話されました。
修理作業では、梅原さんの他、
(有)東日本福祉機器商会の佐々
木さんや赤坂さん、工藤さんの
指導のもと、車いすの修理やサ
ビ取りを行ったほか、現地の道
路事情を考慮し、全ての車いす
のタイヤを「ノーパンクタイヤ」
に交換する作業を行いました。

そして、修理した車いすを丁
寧に梱包し、運送業者に引き渡
しました。今回、修理した車い
すは14台で、他の地域で修理・
整備作業が行われた車いすと
もに、8月にタイ、スリランカ
に贈られる予定です。



修理した車いすを前にした参加者



私たちも
「豊かな社会福祉の
実現」に貢献します

私たちは社会福祉の発展を願い、
福祉の活動を協賛する企業です。
明日の福祉を見つめ、地域社会に
貢献します。

宮古地区

(医)仁泉会 介護老人保健施設
ほほえみの里

(医)正清会 三陸病院

(医)豊島医院

(協)宮古市魚菜市場

（協）宮古支社
（医）宮古支社
（医）宮古支社
（医）宮古支社

盛岡地区

（協）江釣子ショッピングセンター

（協）久慈恵愛病院

（協）宮城建設

（協）高畠電気

（協）田老町漁業協同組合

（協）刈屋建設

（協）金沢漁業

（協）久慈恵愛病院

（協）宮城建設

